



vol.6



WEB



Facebook

発行：佐賀県農産課

<http://www.pref.saga.lg.jp/list00069.html>



株式会社百姓屋
谷口未佳さん・飯塚智美さん

農業を心から楽しむ姉妹が作る華やかな花の苗 ～どんな時も笑顔でのりこえれば農業は明るい未来につながる～



両親の姿を見て、自然と農業の道へ

花のポット苗がずらりと並ぶハウスの中は、あいにくの雨模様ながら、華やかな空気に包まれています。「育てているのは、家庭で植えやすい一般的な花の苗。秋は、ビオラやパンジーがメインです」。家族で経営する株式会社百姓屋で、母親である市丸初美さんとともに、年間約30万ポットの花の苗の生産と販売を行っているのが飯塚智美さん(姉)と谷口未佳さん(妹)です。

就農して13年の智美さん。「水害に遭うことも度々あって、自然が相手の農業は大変です。でも、小さい頃から辛いことも楽しみに変えて働く両親の姿を見て、ほかの仕事より農業に魅力を感じていたのかな」。就農して6年の未佳さんも「私も、両親が楽しそうな姿を見ていたの。そう話すと、「ね」と智美さんと顔を見合わせてニッコリ。家族がいるから、就農した時も今も不安はありません」。二人で声をそろえて話してくれました。

裏面へ続く・・・

TOPICS



プロがしっかり教える「さが農業経営塾」塾生募集中！！

経営開始10年以内の方を対象にした「農業経営力養成コース」と、販路拡大等を目指す方向けの「農業経営発展コース」に分かれて、農業経営を学びます。参加は無料！詳しくは下記にお尋ねください。受講申込書の受付期限：平成29年11月17日(金)正午まで
問い合わせ・申し込み先：有限責任監査法人トーマツ福岡事務所 092-751-1129



農業の魅力は、 やった分だけ返ってくる

智美さん、未佳さんが就農後は直売所での販売が増え、「一つの品種をたくさんではなく、多くの品種を少しずつ作っています。お客様と直接触れ合えるのが直売所のいいところ。トラックを見て、待ってたよと走ってきてくれたり、この前の花がまだきれいに咲いてるよと言われてたりすると、本当に励みになります」と智美さん。未佳さんも、「うちは養土もオリジナルで、販売もしています。母の代から引き継いでいるもので、少し高いけど、いい土だからと買ってくださいですよ」。

花市場への出荷も続けており、「私たちが思い切って育てた品種の苗が競りで高値を付けた時はもう、やったー！ってガッツポーズ(笑)。その時期には育てられる生産者がいなかったんですが、やってみたら咲かせることができたんです」と智美さん。未佳さんも「史上最高の値段だったと競り人さんから連絡が入って、やってみて間違ってたなかったねって」とうれしそうです。

「農業はすべて自分に選択肢があります」と智美さん。自分で考えて生産物を手掛けられることが魅力だと言います。「自分が選んで育てた苗がきれいに咲いて、それを手に取るお客様の笑顔を見ることが出来る。自分がやっただけのことが返ってくるんです。それが農業のやりがいです」。こんな姉妹が育てる苗なら、きっと元気に咲いてくれるはず、そう思わせる笑顔で話してくれました。

飯塚さん、谷口さんのもっと詳しいお話はwebサイトをチェック！



アンケートにお答えください！

「SAGA アグリ之星」は、サイトとフリーペーパーで、次世代の佐賀農業を担う人材をご紹介します。今回のインタビューに関する感想や、佐賀の農業への思い、また、フリーペーパーやサイトに掲載する佐賀の農業情報や、農業に従事している人について、どんなことを知りたいかなどのご要望をお寄せください。

アンケートは、「SAGA アグリ之星」サイトで、スマートフォンからもお答えいただけます。右側のQRコードからアクセスしてください！



SAGAアグリ之星
アンケートページ